

つながり

本誌は、医療や介護に従事する皆様が多職種に向けて自らの情報を発信し、互いに理解を深め、顔の見える関係を築くための連携ツールとして発行しております。

連携センターからのお知らせ

ホームページをリニューアルしました

この度、操作性の向上や掲載内容の充実化を図るため、本センターのホームページをリニューアルしました。本号では、主な機能のほか、より充実させた機能について一部紹介します。



1 ホームページの主な機能



トップページ

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 市民の皆さまへ | 市民向けの情報を集約して掲載 |
| 掲示板 | 連携センターや多職種からの情報を掲載 |
| 多職種トークリレー | 医療・介護関係者による執筆文章をリレー形式で掲載 |
| 事業所検索 | 市内の医療・介護事業所の検索が可能 |
| 研修情報 | 医療・介護に関わる研修会の事前情報を掲載 |
| 資料 | 入退院情報共有シートなど関係資料のダウンロードが可能 |

2 事業所検索 その1:より詳しい情報の検索・共有

施設体制の体制	平日9:00~18:00に1名以上勤務。夜間休日はおコール対応		
夜間の体制の体制	18:00~翌朝7:00は介護職員2名勤務		
前線職員が勤務している時間帯での対応が可能な方、対応、診療など相談させていただきます。夜間、夜間診療に必要と思われる方などは対応可。	可		可
	前線職員が勤務している時間帯での対応が可能な方、対応、診療など相談させていただきます。夜間、夜間診療に必要と思われる方などは対応可。	可	可
中心診療時間	可	インテンシブ	可
	前線職員が勤務している時間帯での対応が可能な方、対応、診療など相談させていただきます。夜間、夜間診療に必要と思われる方などは対応可。		可

事業所詳細ページの一部

- ・施設の特徴をもっと伝えたい（施設職員）
- ・医療行為の可否に関わるため、看護師の勤務時間が知りたい（病院MSW）
- ・受診時に送迎してくれるかどうか知りたい（ケアマネジャー）



このような声を反映させ

- ・「可能な医療対応」に自由記載欄を新設
- ・「看護師の体制」「受診のための送迎等」などの項目を追加
- ・必要な情報が1クリックで印刷可能に（裏面参照）

3 事業所検索 その2:空床のある施設の抽出 ※泊まりのある施設に限りです

空床	あり 女性用多床室が1床、2階トイレ無し個室が1床
空床予定	あり 6/10~6/30 男性用多床室1床空く予定。症状等によっては、先に個室に入所していただき様子を見てから多床室にうつっていただきます。

事業所詳細ページの一部



このような声を反映させ

- ・「空床」「空床予定」の項目を追加。「あり」「なし」のいずれかと特記を表示
- ・絞り込み検索の機能を使い、空床、空床予定のある事業所の抽出が可能に

入力していただくことで施設のPRにもつながります。泊まりのある施設の方は、本センターホームページへの入力、更新にご協力をお願いします。



空床状況の公開について、いただいたご意見やご質問にお答えします

- Q.** リアルタイムで見えることはできますか。（ケアマネジャー）
- A.** 各施設がホームページにログインし、リアルタイムに更新できる仕組みにしています。多少なりともタイムラグが発生してしまいますので、更新日を確認のうえ、施設に直接聞くようにしてください。
- Q.** 普段の業務が忙しく、まめに更新していく自信がありません。（施設職員）
- A.** 操作は簡単です。慣れていただければ作業時間は1~2分で済むかと思います。
- Q.** 常に入退所があり動きのある状態です。どのタイミングで入力すればいいでしょうか。（施設職員）
- A.** 空床の予定がわかった時点で入力できる「空床予定」の項目を設置しています。○月○日から○月○日まで男性多床室1床、など自由記載欄にご記入ください。

4 事業所情報の印刷



各事業所の詳細ページに、「事業所情報シートとして印刷する」ボタンを設置しました。1クリックで必要な情報が印刷できます。入退院時に限らず、事業所を紹介するときなどにもお使いください。

※記載されている情報は目安としてご活用いただき、詳細は直接事業所にお問い合わせください。

ホームページリニューアルにあたり、現場で働く関係者の声と、令和7年度第1回在宅医療・介護連携セミナーでの登壇者の意見を最大限に盛り込みました。セミナーの内容を一部ご紹介しますので、新しくなったサイトと併せてご覧ください。

また、地域の医療・介護資源情報の充実を図るため、ホームページ掲載情報の更新を実施しています。

各事業所にお送りしました「医療・介護資源調査へのご協力のお願い」をご覧いただき、ご回答のご協力をお願いします。

R7年度セミナー「続 スムーズな入退院支援に向けて」の一部を紹介します



昨年9月にR7年度第1回在宅医療・介護連携セミナーを行いました。ここでは、R6年度のセミナー「スムーズな入退院支援に向けて」で話題に挙がった「施設から病院に入院した時は早めの情報共有を」の部分を掘り下げ、続編として開催しました。4人の施設職員と2人の総合病院MSWによる発言のうち、情報共有の内容やタイミングに関わる部分について一部ご紹介します。

※R6年度のセミナーの様子は「つながり」Vol.26に掲載しています。

まめでらハウス 畠山氏



医療行為のある方、医療行為が増える方、ご家族が遠方の方は病院から早めに連絡をいただくと助かります。インスリン注射などの処置がある場合は、こちらから看護師のいる時間帯を伝え、入院中に調整してもらっています。

グループホーム・つばき大住 筒井氏



入院が30日を超えると退居の扱いになるため、必ず早い時点で入院期間の見込みを確認しています。また入院を機に医療行為が発生し施設に戻れなくなる場合は、病院のMSWと相談しながら退居後の行き先を考えています。

中通総合病院 塩谷氏



病院の各職員が施設ごとの機能を詳しく知っているわけではないので、入院時や救急外来受診時に施設の機能が書かれたものを持参していただければ助かります。標準化された様式を使って情報共有できれば、お互い良いのではないのでしょうか。

セミナー登壇者による意見のまとめ

1. 入院時から担当者同士直接または電話でコンタクトをとる
2. 利用者さんの情報のほか、施設の機能も病院に伝える
3. 施設での医療対応の可否が鍵になることが多い
4. 必要な情報が伝わると病院も施設も退院に向けて調整しやすくなる
5. お互いの役割の理解がスムーズな入退院支援につながる

ショートステイみさご 畑中氏



ご本人やご家族は医療行為によって施設に戻れなくなるとは思っていないので、利用前から対応できない範囲を明確に伝えるようにしています。病院へは、入院時に渡すサマリーの中に施設での医療行為の可否を記入してもいいかもしれません。

みんなのまち 川端氏



利用者さんのサマリーのペースを先に作っておき、入院時に近況を書き足すようにしています。病院に早く情報を渡すためにこの準備が役立っています。また、市が作った入院時情報提供シートの施設版があると良いのかなと思います。

秋田赤十字病院 佐藤氏



施設側から「〇日まで部屋を空けて待てる」など具体的に教えてもらえると、退院調整の目安になるのでぜひお願いします。忙しいと遠慮される方もいらっしゃいますが、お気軽に相談室へお問い合わせください。

登壇者の皆さん、ありがとうございました。医療関係者も介護関係者も、患者さん・利用者さんの利益を一番に考えるという根本の部分忘れずにすり合わせをしていきたいところです。お互いの役割を理解する手立ての一つとして、施設の特徴を共有するための様式を作ってもいいのかもしれませんね。

秋田市医師会 在宅医療・介護連携事業担当理事 長谷山



秋田市在宅医療・介護連携センター

〈受付時間〉月～金（祝日を除く）午前9時～午後5時
〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8番5号（秋田市医師会館内）
TEL:018-827-3636 FAX:018-827-3614
E-mail renkei-center@acma.or.jp



編集後記

今回のHPリニューアルは、「現場の生の声」を積極的に取り入れ形にしたものです。新しくなったサイトをぜひご活用ください。また、ご意見などがございましたらご一報ください。

熊谷

